

## 『はっけん！たいけん！中国』

学校名・名前	: 神戸市立神陵台小学校	上田 友美子
実践教科	: 生活科・学級活動	
指導時数	: 10 時間	
対象学年	: 小学 1 年生	対象人数 : 37 人 ( 2 クラス )

### < 教師海外研修を通して感じたこと >

観光では行けないような場所を見学したり、現地の人と交流したりすることで、中国のめざましい発展を遂げようとしている一面と、まだまだ発展途上の一面の両方を見ることができた。海外研修前半では、この大国・中国の現状をどう受け止めていいのか戸惑いを感じ、自分自身の知識不足、勉強不足も思い知らされた。

今回の研修では、青年海外協力隊、JICA、日本企業の方々だけでなく、中国の多くの人々からも大きな刺激を受けた。一生懸命に毎日を生きようとしている姿、使命感を持って仕事をしている姿に心を打たれ、この前向きな姿こそ、子どもたちに伝えたいと思うようになった。家族や故郷を思う気持ち、社会をより良くしようという思いは万国共通であり、1年生の児童にも理解できるように思った。

今回の研修は、異文化の中に身を置くことで、自分自身について考えることもできる良い機会となった。

### BEFORE

中国帰国児童が 1 割を占めている小学校に勤務しているにも関わらず、私には中国についての知識がほとんどなかった。以下のような漠然としたイメージしか、持っていなかった。

急激に発展してきているパワフルな国。

まだまだ整っていない面が多い、発展途上の国。

教育熱心で、学校教育にも協力的な親が多い。

### AFTER

懸命に生きている人々、使命感を持って仕事をしている人々と出会ったことが、最も心に残っている。「私も人のために何かしてみたい。」「世界の人々と交流してみたい。」と、子どもたちが思える授業がしたいと思った。

中国帰国児童はもちろん、その保護者、中国語講師とより交流を深めたいと思うようになった。

日常生活でも、世界の動きについて、日本とのつながりについて、より知りたいと思うようになった。

## 授業の詳細

---

### 1. カリキュラム

#### (1) 実践の目的/背景

本校の校区には、中国残留孤児・婦人の3・4世の方々が数多く居住している。他にも、残留孤児・婦人の子孫ではないが、中国から転居してきたという家庭もあり、中国帰国児童が1割を占めている。このような中国帰国児童のために、本校では様々が取り組みを行っている。その成果もあって、中国帰国児童は言語や文化の違いに最初は戸惑いながらも、徐々に小学校生活、日本での生活に慣れていっている。特に入学当初から在籍している児童は、他の日本の子どもたちと何ら変わりなく生活しているように見受けられる。しかし、日本の友達とのコミュニケーションの難しさ、中国語しか話せない両親とのコミュニケーションの難しさなど、中国の子どもたちが抱えている問題はまだまだ大きく深刻である。

このような小学校に勤務しているにも関わらず、私には中国についての知識がほとんどなかった。中国帰国児童たちと毎日接し、またその保護者ともしばしば話をしているが、私自身中国に行ったこともなく、知識もほとんどなかった。また、私自身の心のどこかに、中国に対する偏った考えがあるのではないかという思いになることもあった。このような現状の私が子どもたちや保護者と接していて、本当に中国の子どもたちと日本の子どもたちをうまくつなげる教育活動ができているのだろうかと不安に思うことがあった。

日本の子どもたちは中国のことをあまりにも知らなすぎる。中国帰国児童は日本語を学ぶことや文化に合わせることで精一杯になってしまい、中国らしさ、ひいては自分らしさを隠すようになっている。このような現状も、お互いの文化を深く理解することができれば、解消できるのではないだろうかと考え、研修に参加し、授業実践に至った。

まず「はっけん！中国」として、撮影してきた写真やビデオ、持ち帰った資料を用いて、中国の様子を伝える。その際には、「日本と似ているところ・ちがうところ・日本と中国のつながり」という視点を持って、子どもたち自身が中国のよいところに気づくようにしたい。また、今回の研修で出会った人々の前向きな姿も子どもたちに伝えたい。1年生の児童には、国際協力や砂漠化などは難しい内容に思われるが、人々の熱い思いは理解できるように思われる。

次の「たいけん！中国」では、中国のお金・楽器・洋服・地図など、実物を見たり、触れたりすることで、中国についての理解を深める。また、中国語の先生に、簡単なあいさつや数の数え方について教えていただく。このような体験を通して、中国のよさに気づき、お互いの文化を深く理解させたい。

## (2) 授業の構成

時限・テーマ ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 中国ってどんな国？	中国について知っていることを発表する。 位置や国旗、人口、言葉などについて知る。	・地図・国旗・写真 (パワーポイント) ・感想記入用紙
2時限目 はっけん！中国	中国の子どもたちの様子を知り、中国と日本の似ているところ、ちがうところに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・中国の教科書 ・感想記入用紙
3時限目 はっけん！中国	中国の町の様子(日本でもなじみのある店がたくさんあること)を知り、中国と日本の似ているところ、つながりに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・持ち帰ったマクドナルドの袋など ・感想記入用紙
4時限目 はっけん！中国	中国の町の様子(日本でもなじみのあるものがたくさんあること)を知り、中国と日本の似ているところ、つながりに気づく。 日本にも中国製品がたくさんあることに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・中国の本、マンガ ・中国製品いろいろ ・感想記入用紙
5時限目 はっけん！中国	中国の町の様子(日本ではみかけないものがあること)を知り、中国と日本のちがうところに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・感想記入用紙
6時限目 はっけん！中国	中国の町の様子(自然や人に優しいものがあること)を知り、中国と日本の似ているところ、ちがうところに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・感想記入用紙
7時限目 はっけん！中国	中国でがんばっている人々(林民・紅丹丹・ODAの人々)について知り、中国と日本のつながりに気づく。	・写真 (パワーポイント) ・砂漠の砂 ・感想記入用紙
8時限目 たいけん！中国	中国のお金・楽器・洋服・地図など、実物を見たり、触れたりする。 中国と日本の似ているところ、ちがうところに気づく。	・中国のお金 ・中国の楽器(埙) ・チャイナ服 ・パンダのぬいぐるみ ・地図 ・パンフレット ・感想記入用紙
9時限目 たいけん！中国	中国語の先生に、簡単なあいさつや数について教えていただく。	・中国語カード ・感想記入用紙
10時限目 たいけん！中国	中国ごまのビデオ映像を見る。 中国ごまを回してみる。	・ビデオ映像 ・中国ごま ・感想記入用紙

## 2. 授業の詳細

### 1時限目 「中国ってどんな国？」

#### 目標

位置や国旗人口、言葉などについて知る。

#### 内容

中国について知っていることを発表する。  
位置や国旗、人口、言葉などについて知る。  
(パワーポイント)

#### <ココがポイント>

導入としての1時間なので、今後の学習に意欲が持てるよう配慮する。クイズ形式を取り入れることで、難しい内容も楽しく学習できるようにする。



多くの人がいるから・・・



看板に漢字とモンゴル文字



中国で大人気！！

中国で大人気のキャラクターを紹介する。  
感想を書き、発表する。

#### <ココがポイント>

中国で人気のキャラクターを紹介することで、中国をより身近に感じられる。

#### 児童の感想

- ・シーヤンヤン（羊のキャラクター）がかっこよかった。
- ・バスが2台つながっているのを見て、びっくりした。
- ・ぼくは中国料理しか知らなかったけど、今日たくさんわかった。
- ・中国の旗に星がついていたことは知っていたけれど、5つもついているとは知らなかった。
- ・中国のことがちょっとわかって、うれしかった。
- ・中国の動物のことをもっと知りたいな。
- ・中国がこんなに広いとは知らなかった。日本よりずっと広いんだね。
- ・中国って不思議な国だと思った。
- ・こんど、中国のことを勉強する日はいつですか？私はたのしみです。

#### 所感

中国帰国児童が、生き生きと発言している様子が印象的な1時間であった。「中国ではね・・・」「中国のおばあちゃんの家では・・・」と、友達に伝えたくて仕方がないという様子であった。

人口や国土の面積など、1年生の児童にとっては難しく思われる内容であっても、クイズ形式を取り入れることで、楽しく学習できたようだった。しかし、私の予想に反して、子どもたちはこの授業の後でも具体的な数字までよく覚えていて、驚かされた。それだけ中国に興味を持っているのだとうれしく思った。

また、中国の人気キャラクターを紹介したことで、子どもたちは中国により親しみを覚えることができたようだった。休み時間にも、このキャラクターの絵本を見たり、絵を描いたりして過ごすことがあり、自然な形で中国に触れる機会になった。

### 2時限目 「はっけん！中国（子どもたち）」

#### 目標

中国の子どもたちの様子を知り、中国と日本の似ているところ、ちがうところに気づく。

#### 内容

中国の子どもたちの様子についての写真を見て、気づいたことを発表する。  
中国の教科書を見る。  
感想を書き、発表する。

#### 児童の感想

- ・中国にも、学校があるってはじめて知りました。
- ・中国の教科書は漢字がいっぱいでした。むずかしそうで、かわいそう。
- ・私たちと本当にいっしょのおもちゃがあって、びっくりしました。
- ・日本の子どもも、中国の子どももシャボン玉をするんだなと思いました。

#### 所感

本時から中国語でのあいさつを、授業の始めと終わりにするようにした。中国帰国児童の発音の良さに、私も他の子どもたちも驚き、感心した。また一つ、中国帰国児童の子どもたちの良いところが、他の子どもたちにも伝えられる機会となった。

中国の子どもたちの遊び、おもちゃ、学習の様子を知ること、「ぼくたちといっしょなんだな」と感じる事ができていた。

教科書は、比較しやすいように、小学校1年生用の教科書を用意しておいた。漢字を学習し始めた1年生にとっては、漢字ばかりの教科書は大きな驚きだったようである。

### 3・4時限目 「はっけん！中国（町の様子）」

#### 目標

中国の町の様子を知り、中国と日本の似ているところ、日本とのつながりに気づく。

#### 内容

中国の町の様子（日本でもなじみのある店）についての写真を見て、気づいたことを発表する。

マクドナルドの袋やおもちゃを見る。

中国の町の様子（日本でもなじみのあるもの）についての写真を見て、気づいたことを発表する。

日本にもたくさんある中国製品を見る。

感想を書き、発表する。



#### 児童の感想

- ・マクドナルドも、牛丼屋さんも、日本と同じでびっくりした。
- ・中国の子どももマクドナルドが大好きで、お母さんに「連れて行って！」ってお願いしているところが、私といっしょです。あんまり連れて行ってくれないともいっしょです。
- ・ケンタッキーのお店の前に、自転車がいっぱい止まっていたから、やっぱり中国って人が多いんだなと思いました。
- ・日本と同じものが、中国でも人気なんだね。不思議です。
- ・ぼくのトレーナーも中国で作られていてびっくりしたよ。

#### 所感

本時はオープンスクールの時期と重なっており、数人の保護者に参観していただいた。「中国のことについて全く知らなかったの、よかったです。」「家で、子どもが『中国のお勉強、おもしろいよ』と話していたので、興味がわきました。今日は、参観できてよかったです。」等々の感想を、保護者からいただいた。本校にとっては、子どもたちだけでなく、保護者や地域の方々に向けて、このような学習を公開していく必要があると思った。

### 5時限目 「はっけん！中国（町の様子）」

#### 目標

中国の町の様子を知り、中国と日本のちがうところに気づく。

#### 内容

中国の町の様子(日本では見かけないもの)についての写真を見て気づいたことを発表する。  
感想を書き、発表する。



### 6時限目 「はっけん！中国（自然や人に優しいもの）」

#### 目標

中国の町の様子を知り、中国と日本の似ているところ、ちがうところに気づく。

#### 内容

中国の町の様子(自然や人に優しいものがあること)についての写真を見て、気づいたことを発表する。  
感想を書き、発表する。



### 7時限目 「はっけん！中国（がんばっている人々）」

#### 目標

中国でがんばっている人々(林民・紅丹丹・ODAの人々)について知り、中国と日本のつながりに気づく。

#### 内容

中国でがんばっている人々(林民・紅丹丹・ODAの人々)についての話を聞いたり、写真を見たりする。

砂漠の砂を触ってみる。

感想を書き、発表する。

#### 児童の感想

- ・そんなにがんばっている人が中国にはいるんだなと思いました。日本にもいたらいいなあ。わたしも、大人になったらやりたいなと思いました。
- ・おじいさんなのに、がんばっててえらいなあ。
- ・中国には、なんでこんなに優しい人がいるんだろう。
- ・自分のためじゃなく、人のためにやってあげているのが、すごいです。
- ・砂漠にペットボトルが捨てられているのは腹が立ちました。ぼくはごみばこに捨てます。



林民のおじいさん



紅丹丹で



紅丹丹で

### 所感

本時の内容は1年生にとっては難しいように思われたが、子どもたちは一生懸命話を聞き、写真を見ていた。感想を読むと、私が伝えたかったことが伝わったように思う。本時の後、一人の中国帰国児童が「中国のおじいさん、おばあさんはすごいんですよ。なんでもできるねん。」と話してくれた。中国に住む祖父母のことを、学級の皆に話してくれたのである。家族の強い絆や年配者を尊敬する気持ちは、日本以上で、私たちが見習わないといけないことの一つだと思った。

### 8時限目 「たいけん！中国」

#### 目標

中国のお金・楽器・洋服・地図など、実物を見たり、触れたりすることで、中国についての理解を深める。

#### 内容

中国のお金・楽器・洋服・地図などの実物を見たり、触れたりする。  
感想を書き、発表する。

#### 児童の感想

- ・中国のお金は色々な色で、きれいでした。
- ・中国のお洋服はつつるしてて、きれいだね。

### 9時限目 「たいけん！中国」

#### 目標

中国語の先生に簡単なあいさつや数について教えてもらい、実際に発音してみる。

#### 内容

中国の絵本を見る。  
中国のあいさつについて知る。  
1～5までの数字について知る。  
ピンインについて知り、ダンスをしながら発音する。  
感想を書き、発表する。



上手に言えるかな？



漢字ばかりだ!!!

#### 児童の感想

- ・ダンスをしながら言ったので、とってもよくわかったよ。
- ・おうちに帰ったら、おかあさんにも教えてあげます。
- ・さん（中国帰国児童）はとっても上手に言えていて、すごいなあと思ったよ。
- ・漢字ばかりの絵本で、中国の子どもたちはえらいなあ。

## 10時限目 「たいけん！中国」

### 目標

中国ごまのビデオ映像を見たり、実際に回したりすることで、中国についての理解を深める。

### 内容

中国ごまのビデオ映像を見る。

中国ごまを回してみる。

感想を書き、発表する。

### 児童の感想

- ・とっても難しかった。中国のあのお兄さんはすごい。
- ・児童館にあるので、またやってみようと思います。
- ・ぼくはちょっとだけ出来たので、うれしかったよ



### 所感

この3時間の「たいけん！中国」は、子どもたちにとって貴重な学習になった。本物に触れるということは、何よりも勝ると思った。この授業の時だけでなく、子どもたちの日常生活の中に、中国の遊びや言葉が自然と広がっていくのが目に見えて、うれしかった。

## 3. 成果と課題

今回の教師海外研修は、授業実践のためだけではなく、自分自身の視野を広げ、価値観や生き方を見つめ直す良い機会になったと思う。校種、年齢等が異なる参加者たちといろいろな話ができ、とても有意義であった。現地の子どもたちともっと交流する機会があればよかったと少々残念にも思うが、今まで全く知らなかった JICA や企業の取り組みを見せていただけたことも貴重な経験となった。

帰国後は、世界の動きについて、日本とのつながりについて、今までよりももっと知りたいと思うようになった。学校現場でも、中国帰国児童はもちろん、その保護者、中国語講師とより交流を深めたいと思うようになった。

授業実践をふりかえって、中国帰国児童がこんなにも生き生きとした表情で取り組み、積極的に発言している姿が見られてよかったと思う。日本語を学ぶことや文化に合わせることに精一杯になってしまっている子どもたちに、中国について少しでも誇りを持ってほしいと願っていたからである。また日本の子どもたちにとっても、中国の文化だけでなく、日本の文化もより深く知る機会となった。友達をより深く理解する一つの取り組みとなったと思う。

今回の授業実践は、1年生対象ということもあり、研修での体験や資料のすべてを授業に取り入れることができなかった。国際協力や砂漠化など難しい内容までは理解できていないが、一生懸命に生きている人々、使命感を持って仕事をしている人々の熱い思いは感じる事ができたと思う。逆に、1年生の純粋な目、やわらかな頭だからこそ、中国の様々な姿を先入観なく受け入れられてよかったのではないかと思う。

本校の実情をふまえて、今後も引き続きこのような取り組みをしていきたいと思う。また、子どもたちだけでなく、保護者や地域の方々に向けても発信していくべきだと思っている。